

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



2013年  
8月7日号  
NO.6号  
♪じんけんワンだふる&  
ニャンだふる



# OYA OYA 通信

第6回 7月24日「わかるとかわる! ~  
アタマでわかるからココロでわかるへ  
~」 大島一さん  
(マザーアース・エデュケーション)

2013 年度最終6回  
目のじんけん楽習塾  
は大島一さんでした。



今日することの1点  
目はここでわかった

ことを人と分かち合うこと、2点目は16年間続いた  
じんけん楽習塾、改めてわたしたちにとって、  
人権を学ぶことの意味を考えてみたいということ  
でした。

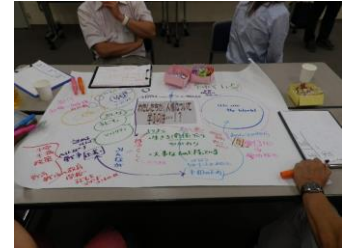
最初に頭上に大きな時計があるつもりで、その  
針を1から12まで(時計回りに)人差し指でなぞ  
っていきます。その指をだんだんと螺旋状に下  
におろしていくと、それまで時計回りに回っていた  
指が時計と反対周りになっています。自分の視線  
が変わることによって反対に見えたりします。

ペットボトルに残っている水も残っている部分  
に注目するのか、減っている部分に注目するかで  
行動も変わっていきます。欠けていようが足らな  
い部分があろうが、丸ごとにその存在をみとめら



れること、愛され  
ることが、特に今の  
子どもたちには大切  
なことという話が  
印象に残りました。  
そのような話の

後、デートゲームを  
しました。月から土  
までデートする相手  
を探して、大島さん  
が指定した曜日の人  
とペアになって(つ



まりデート)2人で、なぜあなたは人権を学ぶのか、  
学んだ事について話をします。その後、2人で共通  
点をさがしあい、つぎに4人になって全員が違う  
ところをさがしました。4人全員がちがうところ  
を見つけるのは思ったより簡単ではありませんで  
した。

そして、4人グループで「わたしたちが、人権に  
ついて学ぶのは…!？」をテーマにワールドカフ  
ェをしました。お菓子や飲み物も用意し、それぞ  
れのテーブルはとても熱心な会話になっていまし  
た。最後に2013年度皆勤賞ということで、缶バッ  
チの贈呈がありました。(文責 ぼんみ)

個人で皆勤賞のお二人  
に贈呈しました。



リレーで参加した皆勤賞の桂青  
少年会館と安中人権コミュニテ  
ィセンターにも贈呈です。



### 【みなさんの感想】



■じんけん楽習塾は、1回あたり500円で2時間半も、人権に関する話が聞けたり、いろんな立場の人と話ができてたりしてお得やなあ、と思います。職場からは遠いので、毎回遅刻するのですが、昨年度までは皆勤でした。(今年度は1回だけ、職員会議が伸びたので行けませんでした。ギロン星人の時です。 行きたかったです。)



私がじんけん楽習塾に行っているのは、人権問題についてあれこれ疑問があってそれが解決できないかなあ、と思っている

からです。(略)

私は、その昔、ある人権団体でアルバイトをしていたことがあります。でも、そこで、自分やたくさん人のバイト仲間がいじめられて、つらい思いをしました。つらくてほとんどの人が辞めました。自分やバイト仲間たちは、人権問題に関心があった人もいたけど、そんな経験を経て人権問題から離れていった人もいます。(略)

結局、被差別者でも力のある人たちにとっては、自分らへの差別問題の解決が重要で、声を上げられない力のない人間に対する不当な仕打ちが、重要な問題ではない、と闇に葬られるのか、と思ったこともあります。(略)

いろんなこれまでの経験の中で、いろんな思いをしてきて、人権問題について考えない方関わらない方が楽に生きられる、別に自分なんかそんなに人権活動で役に立つ方でもないやろうし、と思ったこともあります。

でも、自分は腹の立つことから解放されたい、疑問への答えを見つけない、考え続けたら、いろんな人と出会ったら見えてくるものがあるかもしれない、そう思って毎年参加しています。

■最後の回で、「なぜ人権を学ぶのか？」改めて考えることができ良かったです。

楽習塾はまた来年度ですが、今日のテーマは常に考え行動することを意識付けされた感じです。

例えば何かしら情報を得たとき、「ほんまに？」とか「発信元は？」「他の見方は？」とか考える。

「分かったつもり」にならないよう、自己点検していこうと思いました。そのためにも学び続けることが必要なんですね。

ペアで、さらに4人で、共通点と違いを探すとき、どこまで個人的なことに踏み込むのか、その後の展開も含めて緊張しました。自分は気にしないことでも相手にはどうなのか、「自分の当たり前」を疑う練習になりました。

慎重になり過ぎて、何も言えなくなるのではなくて、聴いたり、訊いたりしながら相手に興味を持って接することや、自分のことも発信することで、次の展開を楽しめるコミュニケーション、これもトレーニングだと思います。

■ワールドカフェをしていただいて本当によかったです。それぞれの講座で学んだ事の意味が自分の中で総括され、これからの行動へつながる形となりました。

#### 事務局より

みなさん参加ありがとうございました。1998年から続いたじんけん楽習塾も16年がたちました。なんと1年目に生まれた子どもは高校生になっている計算です。今、自分事として人権をとらえ、人権を尊重するために行動する力が必要な時代になってきていると痛感しています。人類が時に時に血を流しながらちとってきた「人権」を私たちは大切に広めていきたいと思います。来年度もよろしくお願いいたします。

